2024 年度　人文社会学部　人間文化学科「学修行動アンケート」の分析

人間文化学科　学科長　大塚淳子

はじめに

2024 年度における本調査結果について、人間文化学科における特に 4 年生の回答結果に着目した成長実感・満足度についての分析を以下に記す。質問項目によってはコースごと、また、異なる学年の回答結果にも着目したものがある。

なお、前提として、本調査の中心的対象となった 4 年生はコロナ禍の影響を受け、コロナウィルスの 5 類移行を経て、3 年次にようやく正常化した学生生活を送れた学生たちであり、自ずと大学生活への影響がさまざまに存在すると考えられ、背景にその点を留意すべきと考える。

また、ここでは人間文化学科の結果を取りまとめるが、各コースについて特性を反映した違いがあり、それら詳細は各コースの分析を参照願いたい。以下、各コースについて、福祉コース＝F コース、メディア文化コース＝M コース、グローバルコミュニケーションコース＝G コース、というように表記する。

＜０．回答率＞

本学科の在籍対象学生数 667 名のうち回答者数が 618 名､回答率は 92.6%であった。また、F コースが 91.6%、M コースが 94.8%、G コースが 88.8%と各コースともに高めの回答率となった。引き続きさらに回答率があがるように取り組みたい。

＜１．「本学の目標とする力」がどの程度身についたか＞　設問１～６

「十分身についた」「かなり身についた」の合計割合をみると、設問 1「人間愛（利他の心)」で 56.7%、設問 2「他者との協働力」で 62%、設問 3「自立して逞しく生きる力」で 58%、設問 4「創造的な問題解決力」で 58.7%、設問 5「専門性を高める意欲と力」で 64%、と 5 つの設問すべてにおいて、4 年生は 50%を超え、さらに他学年を上回る割合を示した。設問 6「わが国と世界の持続・発展に尽くす力」に関しては 44%に留まったが、他学年を上回るとともに大学全体も上回った。本学科は留学生の受け入れが 2022 年度から始まっているが、設問 6 の割合が今後高まることを期待したい。

コースの特性が現れたものを幾つか抽出してみる。設問 6 では G コースが 50%を超えた一方、M コースは大学全体の同割合を下回る 37%に留まった。設問 4「創造的な問題解決力」に関しては M コースが 64.6%と大学全体の 52.9%を上回り高い割合を示した。F コースは全設問で大学全体を超えて高い割合となったが、特に 7 割を超えたのが設問 2「他者との協働力」、設問 5「専門性を高める意欲と力」であり、ソーシャルワークの実習等による影響が窺える。

また全体的に、1 年生で高い割合が示され、2～3 年生で下がる傾向がみられる。高等学校から大学へ移り学ぶ環境が大きく変わり、求められる主体的な取り組みに応じてい

るとの実感を入学年度に持つ学生が多くいると考えてよいだろうか。高等学校とは違う学びの段階への移行に伴い主体性や魅力と感じていることを継続して伸ばせるよう、学科としてサポートができるようにしたい。

＜２．授業関連について＞　設問７～13

ここでは「頻繁にした」「かなりした」の 2 つの回答割合の合計値だけをみると総じて高くないため、「時々した」も合わせた割合で分析した。

設問 7「授業の予習、復習、課題」では 76.6%であった。設問 8「学修支援システム（manaba）を利用した勉強」は 76%、設問 9「授業中やオフィスアワー等を利用した教員への質問等」では 59.3%となっているが、これの 3 つの設問では 4 年生の回答が他学年より低くなっている。一つには、3 年次までにおおむね単位修得しているため、履修授業が減り、こうした状況になっていると考えられる。4 年生で回答割合が高くなるのは設問 10「就職や資格取得に関わる勉強」で 73.4%となり、これは他学年より明らかに高くなっている。関連する可能性があるのが設問 11「友人と一緒に勉強」の 64%である。1 年生は 75.2%とさらに高く、入学年次のほうが友人を作り一緒に勉学に励む状況が、高学年になるほど個々の学生生活の展開が窺える。

設問 12「メディアライブラリーを利用した勉強」は 43.3%と、大学全体の 63.4%より低い。授業内で図書館の利用につながるような工夫をやや意識することが望まれる。本設問は、メディアライブラリーという場で勉強をしたことを尋ねるものと、ライブラリー所蔵の図書（電子を含む）の利用を尋ねるものが含まれるが、いずれにしても利用度の向上が望まれる。

以下で「頻繁にした」「かなりした」の回答割合の合計をもとにコース比較をした。

設問 8「学修支援システムを利用した勉強」については、設問 7 と連動することも考えられるが、各コースともに 40%台とおおむね良く利用しているものと考えられ、教員も学生も 4 年を通じて学修支援システムを円滑に利用できているものと考えられる。

設問 9「授業中やオフィスアワー等を利用した教員への質問や要望」については、3 コースの回答割合に差が目立つ。M コース 15.4%、G コース 22.8%、F コース 31.7%となっている。おそらく F コースの割合が高いのは国家試験の取り組みに関するものが反映されているものと考えられる。また、1 年生で「あまりしなかった」「全くしなかった」が M コース 45.5%、G コース 33.3%、F コース 18.4%となっており、こちらでも F コースは国家試験受験のための指定科目の選択や履修についての説明に始まり、学生にとって確認すべことが多くあることが反映されていると考えられる。

設問 10「就職や資格取得に関わる勉強」においても M コース 32.4%、G コース 34.1%、F コース 48.8%と国家資格受験が関連する差と推察される。この傾向は設問 11「友人と一緒に勉強」にも同様で F コース 48.8%、G コース 25%、M コース 23%となった。

＜３～４．授業期間中の生活行動に関する時間や回数について＞設問 14～22

設問 18 の読書時間を尋ねる設問結果をみても各コースともに 4 年生の読書時間は 1 週間あたり 1 時間未満が 50%を超えており、先述のように授業等に関連する図書の紹介等をもう少し積極的に行うような工夫が検討されるとよいかもしれない。

設問 17「睡眠時間」については、特に G コースの 4 年生が 4 時間までの合計が 20.3%と約 5 人に一人、また 5 時間までを合わせると 33.9%と約 3 人に一人となっている。睡眠時間が短めな理由は把握できないが、健康面から大変に気がかりな数字である。

設問 22「ボランティア活動の回数」については、どのコースも 1 回～2 回に留まる者が 70%を超える。本学には他大学には見受けられる学生ボランティアセンターのような組織がなく、ボランティア活動を紹介し参加を促進する基盤は弱い。多発する災害時など、若者のボランティア活動への期待や要請は社会内で大きいものがある。設問に掲げていることもあり、その意義あるいは取り組み対策を検討課題に挙げてもよいのではないかと考える。

＜５．本学の設備や教育内容、学修支援について＞　設問 23～34

設問 23～設問 34 においては、「とても満足」「かなり満足」の合計割合でみていく。設問 27「演習室や実習室の設備や器具」および設問 29「保健室や付属の医療施設」に関しての満足度において 4 年生が大学全体を下回ったが、後はすべて上回っていた。本学科では F コースと G コースは、演習室や実習室がないことから大学全体を下回ったと考えられるが、それでも 50%は越える割合となっている。保健室等については、実際に利用している学生を対象に聞くと結果がより現実的になるのかもしれない。

設問 24「所属学科・コースで学べる教育内容」が 60%、設問 31「学科・コース教員による指導・相談」が 64%と概ね良い評価である。設問 31 は 1 年生と 4 年生が高めに出ていることから、入学年次のガイダンス的指導や相談、4 年生の卒業に向けた指導や相談が期待に応えられていると言えよう。ただ、割合は低いが、「やや不満」「とても不満」について、その内容を吟味したいところである。

設問 32「事務職員によるサポート」は 57.3%、設問 33「就職支援室による支援」は 58.7%となっており、他学年よりいずれも高い割合である。4 年生はさまざま手続きや相談も多く、上手に活用できていると考えられる。

設問 34「大学全般を総合的に判断」は 59.4%と大学全体の 50.4%および他学年のいずれをも上回っている。「やや満足」まで合わせると 92%となり、4 年間在学し卒業する母校に対する満足度としては評価できる割合が示された。

＜６．不安や悩みについて＞　設問 35～43

設問 35～設問 43 については「大いにある」「少しある」とのネガティブ回答 2 項目の合計割合を 4 年生に限らず見ていくが、いずれも憂慮される結果となっている。

設問 35「授業内容についていけない」は 1 年生 40.5%、2 年生 46.1%、3 年生 34%、4 年生 19.3%とさすがに他学年より割合が減少するが、それでも 4 年生でなお約 2 割近くが授業についていけないという苦しい状況にあり、自ずと他の設問結果にも連動する

と考えられる。3 年次までに本課題が解消されなかったということであり、対策の検討が求められる。

設問 36「卒業後にやりたいことがみつからない」は低学年より減少するものの 4 年生で 34%は就職活動への影響が懸念される。多様な仕事のイメージやリアリティを描けることやロールモデルを見つける機会の提供が不足しているのか、機会があっても活かせていないのだろうか。

設問 38「経済的に勉強を続けることが難しい」は 4 年生の割合は低いものの、13.4%存在する難しさを抱える学生が無事卒業できるためのサポートが求められる。中には学費の心配から深夜までアルバイトに拘束され、勉学の時間が確保できず、就職や国家試験で厳しい結果となる者もいるのを見て歯がゆさを感じている。

設問 39「学内友人関係の悩み」、設問 40「家族関係の悩み」についてはいずれも 11.3%、15.4%と低学年より低く、想定される一定程度の割合に収まっている印象を持つ。本回答では内容までは掴めないので、深刻な場合には相談できていることを願うしかない。

設問 41「身体面の健康状態への不安や悩み」では、1~3 年生が 30%前半台で、4 年生は 22.6%と低くなっている。就職活動や社会人に向けての体調管理の力が上がり、割合が減ってきているとすればいいことである。

設問 42「精神面の健康状態への不安や悩み」については 1 年生 34%、2 年生 33.3%、3 年生 42%、4 年生 26%と、各学年にそれなりの不安や悩みを抱える学生がいることが示されている。3 年生が高いのは進路や就活状況等と関連するだろうか。先述した設問 36 の 3 年生は 64%、設問 37「希望の就職先や進学先へ行けるか不安だ」は具体的に動き出し見通しが現実的になる 4 年生は 31.3%だが、3 年生は 78.4%と高い割合である。

設問 43「悩みの相談相手」は、各学年ともに友人、家族が各 30%台を示し、教職員も 10%台を示している。

＜７．学科独自の質問項目＞　設問 44～62

入学時との比較で能力の獲得を問う設問を多く設定した。4 年生の回答が「十分ついた」「かなりついた」の合計割合が 4 割以下となった設問のみピックアップする。

設問 45「本を読む習慣」23.3%、設問 46「本・論文・資料などを読む力」34.6%、設問 48「将来目標に向けて学修計画を立案実行する力」36.7%、設問 60「国際情勢（海外事情）への関心や理解」40%、設問 61「日頃から海外の人（留学生含む）と接する力」30%、設問 62「日常的に SDGs を意識して行動する力」24.6%となっている。

合計割合が 60%を超えたものは、設問 44「幅広い知識と教養 63.4%、設問 52「人とコミュニケーションする力」60%、設問 56「人の意見に耳を傾け共感する態度」64%、設問 58「学業と学外活動（アルバイト、ボランティアなど）の両立等、自律的生活態度」60.7%となった。

学修に対する習慣、読解力、計画的学修、国際的関心の醸成などについては本学科の学生の学修課題であり、人との交流や関係づくりについては一定の成果がみられるようである。

以上

2024 年度 経営学科 学修行動と学修成果の調査の分析結果

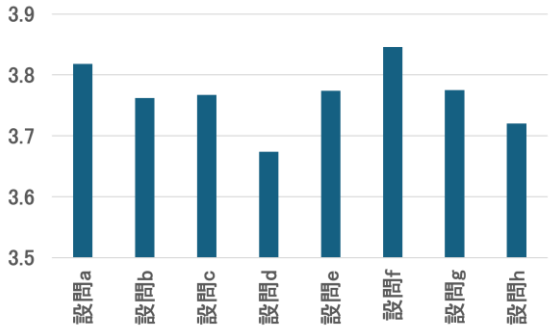
経営学科学生の学修行動と学修成果の調査結果につき以下分析を行った。

1. 大学の設備や学修支援環境に関する満足度について

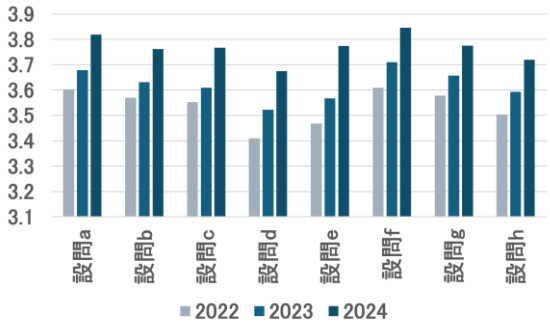
右図の 8 項目に関する満足度に関してのアンケート結果を比較するグラフを作成した。

設問a	図書室や自習環境の整備
設問b	演習室や実習室の設備や器具
設問c	講義教室の設備（空調や照明を含む）
設問d	学食
設問e	学科・コースの教育内容
設問f	学科・コースの教員による指導
設問g	事務職員によるサポート
設問h	保健室や付属の医療施設

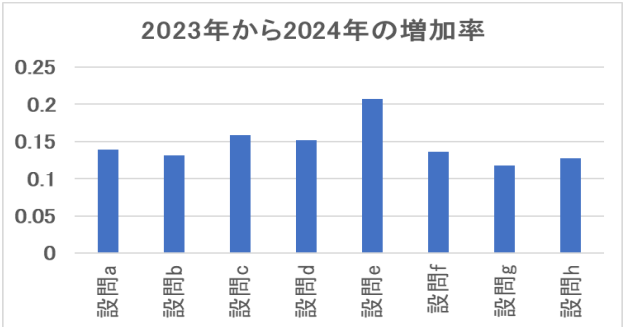
各項目 3.6 以上と満足度は比較的高い結果を示し、いずれの項目もコロナ禍の 2020 年以降増加傾向が継続している。特徴としては①本学科学生は，図書室（メディアライブラリーセンター）や，学科・コースの教員や事務職員による指導・サポートに対する満足度は相対的に高いが，②学食や教育内容に対する満足度は相対的に低いことが分かる。ただし、本学科においては、2022 年度から新カリキュラムに移行しており、3 年生の教育内容に関する満足度を計算してみると 3.71 と昨年度の 3.51 から向上していることがわかる。昨年度の 2 年生の時も満足度が向上していたので、新カリキュラムの効果があったと言えそうである。また、ここ 3 年間の経年変化を見ると、全体的に満足度は向上している。特に、教育内容の満足度の増加率が高く、ここからも新カリキュラムの効果が表れてきていることがわかる。



本学の教育内容や設備、学習支援に対する満足度



満足度の経年変化

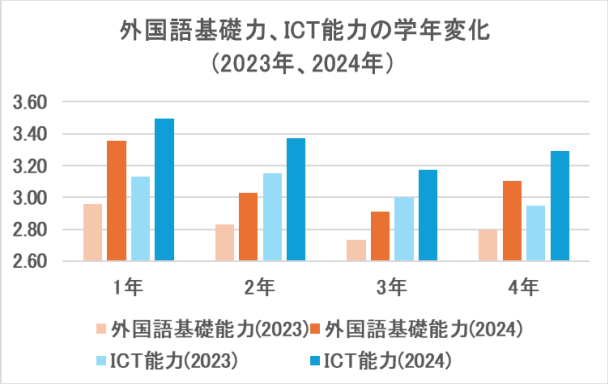


※ グラフの縦軸の数値は，アンケートの回答の選択肢「5.とても満足，4.かなり満足，3.やや満足，2.やや不満，1.とても不満」の平均値を表している。

2.　大学入学時と比べて身に付いた能力について

大学入学時と比べて身に付いた能力についての 13 の質問項目結果について 4 年生と全学年生の身についた度合いを示す平均値を、4 年生の結果で高いほうから並べた結果を表に示す。この結果は昨年度とほぼ変わらず、①行動力、解決力、考察力等、社会人としての基礎力に関する項目が、専門知識など具体的な知識力に比べて、上位位置を占めた。②また、4 年生と全学年の値を比較してみると、ICT を除いて、全体よりも 4 年生の値が高くなっている。これにより 4 年間の教育の成果が徐々に身についていることが想像される。③4 年生の値が低くなっている ICT と全体とほぼ同じ値の英語に関して学年ごとの値を昨年度の値とともにグラフに示す。この結果、ICT も外国語力も昨年度と比較して値が高くなっていることがわかる。また、特に 4 年生で低くなっているのではないことがわかる。ICT も外国語力も、3 年次が一番低く、4 年で若干持ち直しているのは昨年と同様である。外国語基礎力では 1 年生と 2 年生の間、ICT能力に関しては 2 年生と 3 年生の間の低下が著しい。いずれも必修科目が終了したことにより低下が進んでいることが推測される。外国語力に関しては選択科目として配置している TOEIC,異文化コミュニケーション、海外インターンシップ、留学制度、その他英語科目において継続機会を設けているが、2年次に積極的に履修する学生の数が限られているためと思われる。しかし、3年次にはある程度履修する学生が増えたため、あるいは、就職活動に向け英語を自主的に学習する学生がいたと思われる。ICT 能力に関しては、1 年の値が高く、全体の値を押し上げている。これは高校での情報の授業必修化のためと思われる。④ICT 能力に関して、2023, 2024 年度に実施された卒業生・就職先企業へのアンケートの結果、卒業生が在学中にもっと学びたかった事として PC スキルが特に高い値を示していたのに対して、就職先企業の評価としては比較的高い結果を示している傾向が継続している。これらは、③において外国語基礎力や ICT 能力が、学年が進むにつれ低下していることともつながっていると考えられる。ICT については、高校での情報の授業必修化の効果で今後も向上していくことが考えられるため様子を見ながら対策を考える必要がある。また外国語教育については、生成 AI を授業に取り入れるなどして、継続的な教育を維持していく方策を検討すべきかと思われる。

身に付いた能力	4年生	全学年
規則や約束を守ろうとする態度	3.88	3.80
一般的な教養	3.87	3.71
コミュニケーションの基礎力	3.81	3.64
資料や文献を読み解く力	3.78	3.59
文章を書く力	3.74	3.56
キャリアについて考え、行動する力	3.71	3.55
問題点や課題を見つけ、解決する力	3.70	3.57
物事を分析的・批判的に考察する力	3.70	3.58
専門分野の知識と技術	3.63	3.55
経営学分野の基礎的な知識	3.62	3.53
実習等によって身につく社会貢献力	3.35	3.23
ICTを用いた情報処理能力	3.29	3.33
外国語の基礎力	3.10	3.09



以上

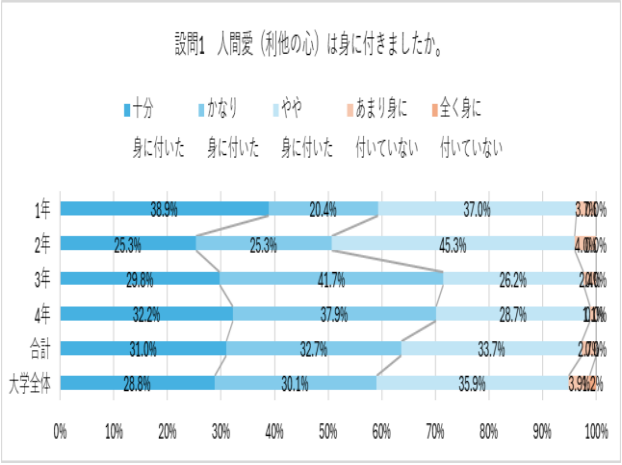
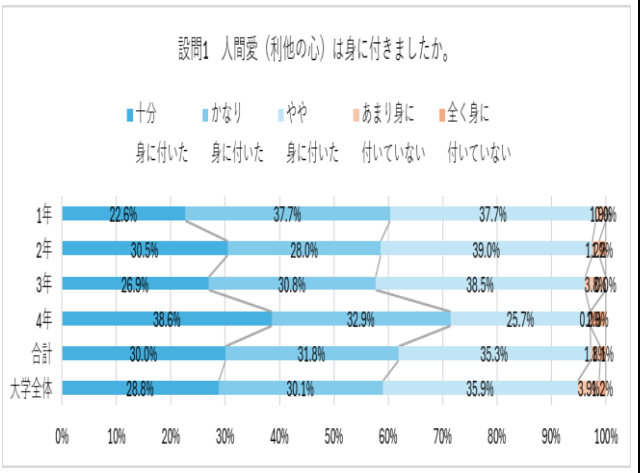
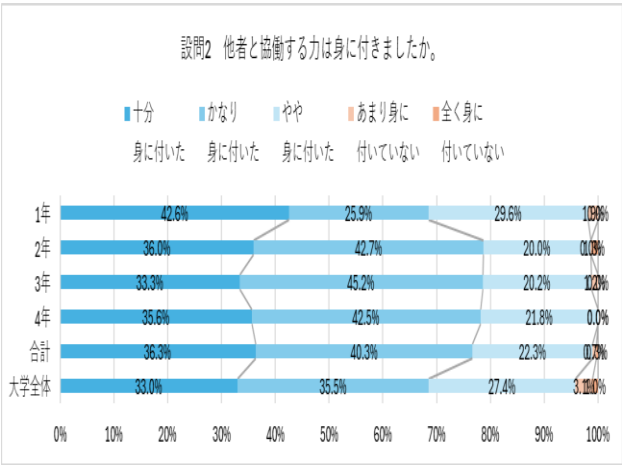
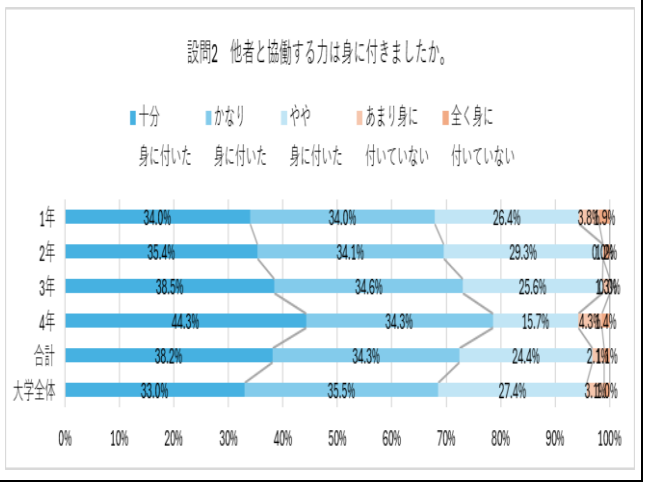
2024年度 児童学科 学修行動調査アンケートの分析結果

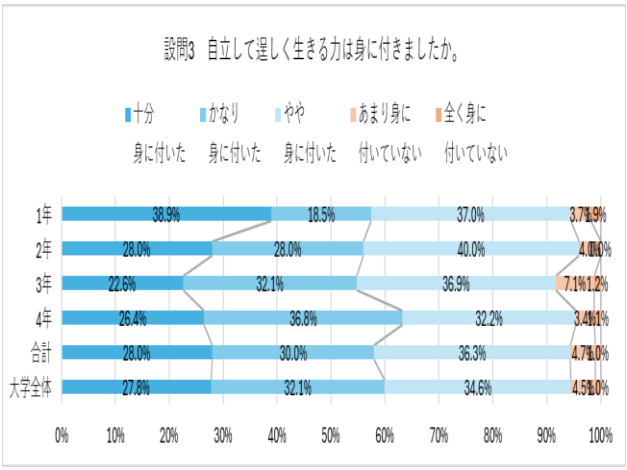
児童学科では，学修行動に関するアンケート調査を実施し，分析を行った。以下，今後の学修指導に有益であろう分析結果，学生の満足度を向上させるために有益であろう分析結果に絞って，分析結果をまとめる。

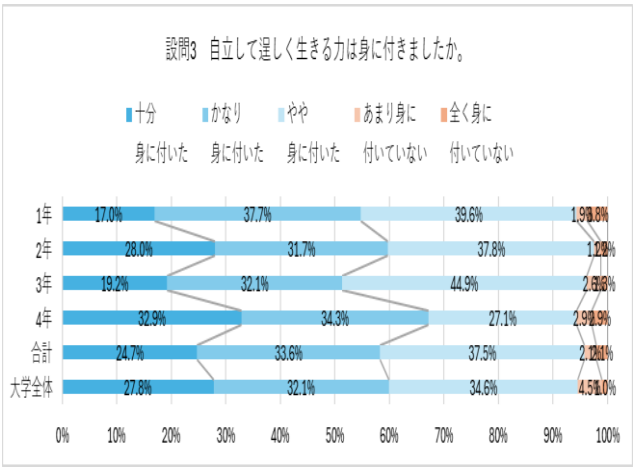
1. 本学の「目標とする力」の定着度について

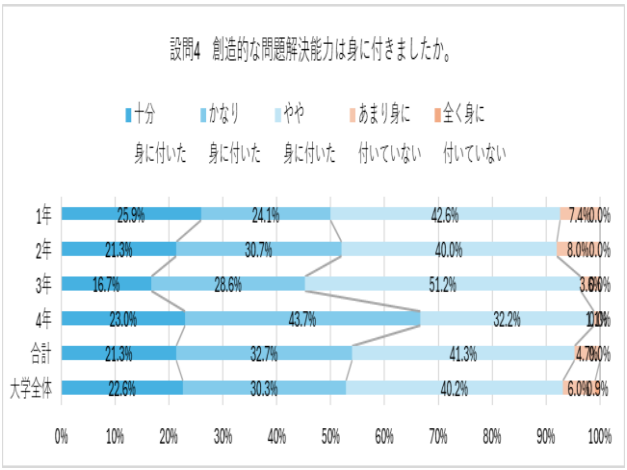
項目１では、本学の「目標とする力」である「人間愛」「他者と協働する力」「自立して逞しく生きる力」「創造的な問題解決能力」「専門性を高める意欲と力」「わが国と世界の持続・発展に尽くす力」についてどの程度身に付いたと実感しているのかを問う設問が１～6 までである。

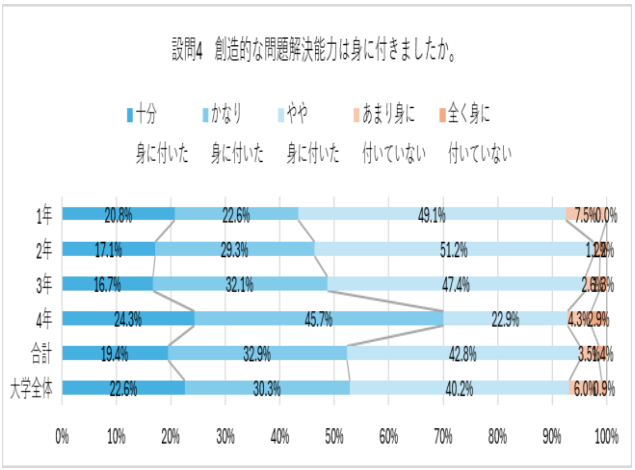
学生は「十分に身に付いた」「かなり身に付いた」「やや身に付いた」「あまり身に付いていない」「全く身に付いていない」の５件法で回答することになっている。その結果が以下の通りである。

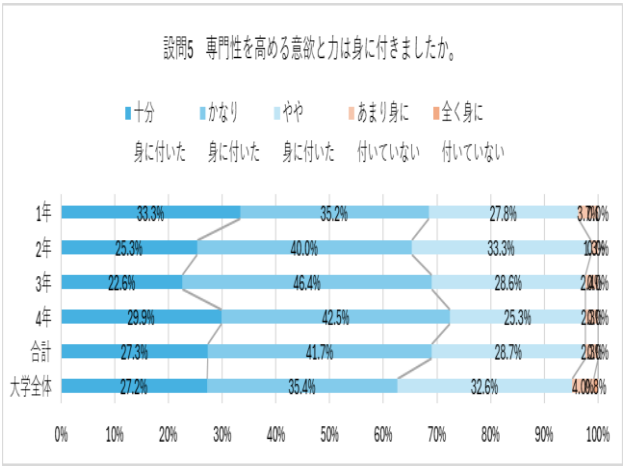
小学校･特別支援コース	保育･幼稚園コース
	
	

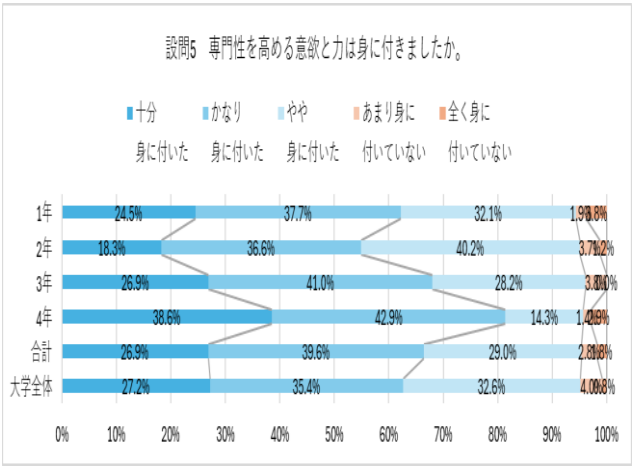

設問3　自立して逞しく生きる力は身に付きましたか。
十分
かなり
やや
あまり身に
全く身に
身に付いた
身に付いた
身に付いた
付いていない
付いていない
1年
2年
3年
4年
合計
大学全体
38.9%
18.5%
37.0%
3.7%
1.9%
28.0%
28.0%
40.0%
4.0%
0.0%
22.6%
32.1%
36.9%
7.1%
1.2%
26.4%
36.8%
32.2%
3.4%
1.1%
28.0%
30.0%
36.3%
4.7%
1.0%
27.8%
32.1%
34.6%
4.5%
1.0%
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%

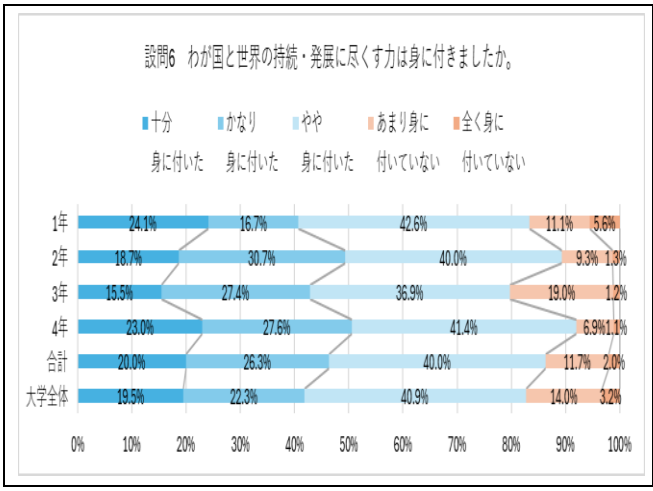

設問3　自立して逞しく生きる力は身に付きましたか。
十分
かなり
やや
あまり身に
全く身に
身に付いた
身に付いた
身に付いた
付いていない
付いていない
1年
2年
3年
4年
合計
大学全体
17.0%
37.7%
39.6%
1.9%
0.8%
28.0%
31.7%
37.8%
1.2%
1.2%
19.2%
32.1%
44.9%
2.6%
1.3%
32.9%
34.3%
27.1%
2.9%
2.9%
24.7%
33.6%
37.5%
2.1%
1.0%
27.8%
32.1%
34.6%
4.5%
1.0%
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%

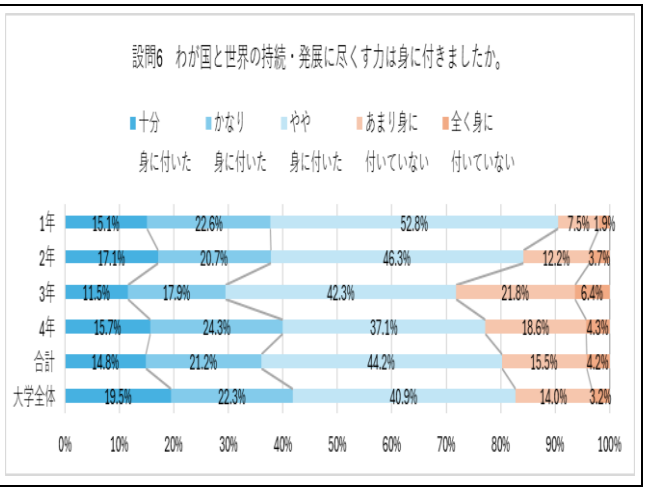

設問4　創造的な問題解決能力は身に付きましたか。
十分
かなり
やや
あまり身に
全く身に
身に付いた
身に付いた
身に付いた
付いていない
付いていない
1年
2年
3年
4年
合計
大学全体
25.9%
24.1%
42.6%
7.4%
0.0%
21.3%
30.7%
40.0%
8.0%
0.0%
16.7%
28.6%
51.2%
3.6%
0%
23.0%
43.7%
32.2%
1.1%
0%
21.3%
32.7%
41.3%
4.7%
0.0%
22.6%
30.3%
40.2%
6.0%
0.9%
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%


設問4　創造的な問題解決能力は身に付きましたか。
十分
かなり
やや
あまり身に
全く身に
身に付いた
身に付いた
身に付いた
付いていない
付いていない
1年
2年
3年
4年
合計
大学全体
20.8%
22.6%
49.1%
7.5%
0.0%
17.1%
29.3%
51.2%
1.2%
0%
16.7%
32.1%
47.4%
2.6%
0%
24.3%
45.7%
22.9%
4.3%
2.9%
19.4%
32.9%
42.8%
3.5%
1.4%
22.6%
30.3%
40.2%
6.0%
0.9%
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%


設問5　専門性を高める意欲と力は身に付きましたか。
十分
かなり
やや
あまり身に
全く身に
身に付いた
身に付いた
身に付いた
付いていない
付いていない
1年
2年
3年
4年
合計
大学全体
33.3%
35.2%
27.8%
3.7%
0.0%
25.3%
40.0%
33.3%
1.3%
0%
22.6%
46.4%
28.6%
2.4%
0%
29.9%
42.5%
25.3%
2.3%
0%
27.3%
41.7%
28.7%
2.3%
0%
27.2%
35.4%
32.6%
4.0%
0.8%
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%


設問5　専門性を高める意欲と力は身に付きましたか。
十分
かなり
やや
あまり身に
全く身に
身に付いた
身に付いた
身に付いた
付いていない
付いていない
1年
2年
3年
4年
合計
大学全体
24.5%
37.7%
32.1%
1.9%
0.8%
18.3%
36.6%
40.2%
3.7%
1.2%
26.9%
41.0%
28.2%
3.8%
0.0%
38.6%
42.9%
14.3%
1.4%
0.0%
26.9%
39.6%
29.0%
2.8%
0.8%
27.2%
35.4%
32.6%
4.0%
0.8%
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%





「十分に身に付いた」「かなり身に付いた」「やや身に付いた」と回答した割合は、「設問６　わが国と世界の持続・発展に尽くす力」を除いて、5 つの設問で全てのコースの全ての学年で 9 割を超えており、各設問で問われている本学の目標とする力が「身に付いた」と実感している学生の割合が高いことが伺える。

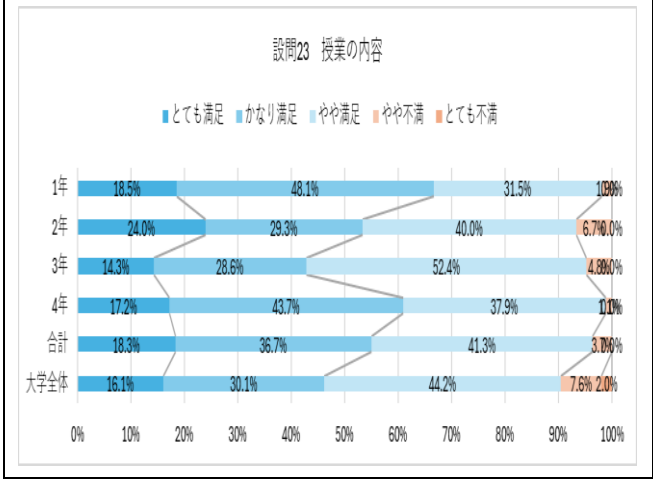
また「設問５　専門性を高める意欲と力」を問う設問において「十分に身に付いた」「かなり身に付いた」と回答した 1 年から 4 年までの合計は「小学校・特別支援コース」が 69.0%、「保育・幼稚園コース」が 66.5%であり、大学全体の平均値である 62.6%を上回る結果となり、本学科での学修を通して専門性を高める意欲と力が身に付いたと実感している学生の割合が大学平均を上回る高い水準にあることが伺える。

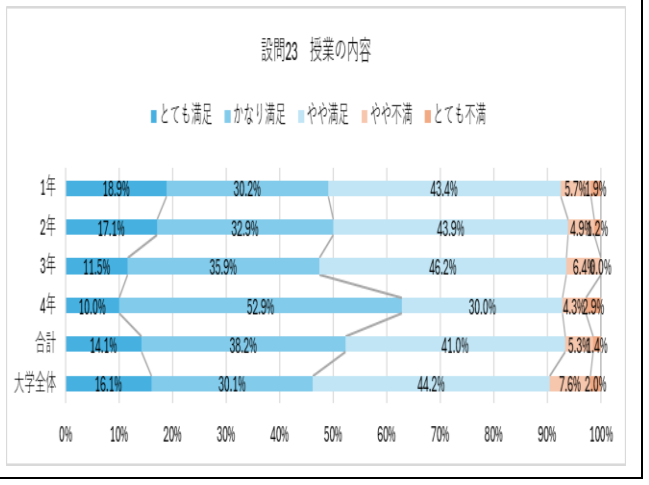
2. 本学の教育内容、学修支援についての満足度について

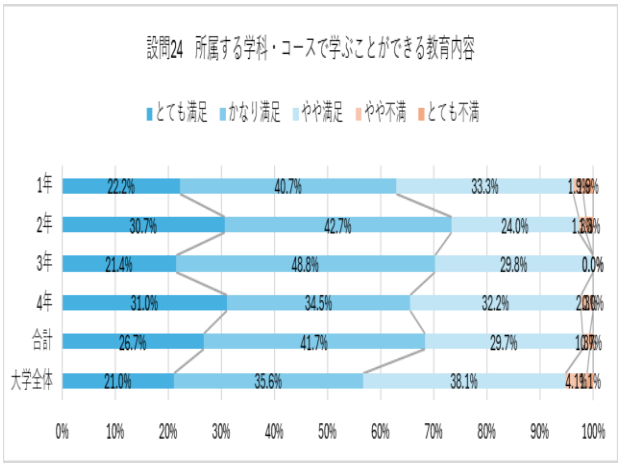
項目５では、本学の教育内容や設備、学修支援についての満足度を問う設問が 23 から 34 までである。ここでは「教育内容」と「学習支援」に絞って、学生の満足度の実態を捉えていく。

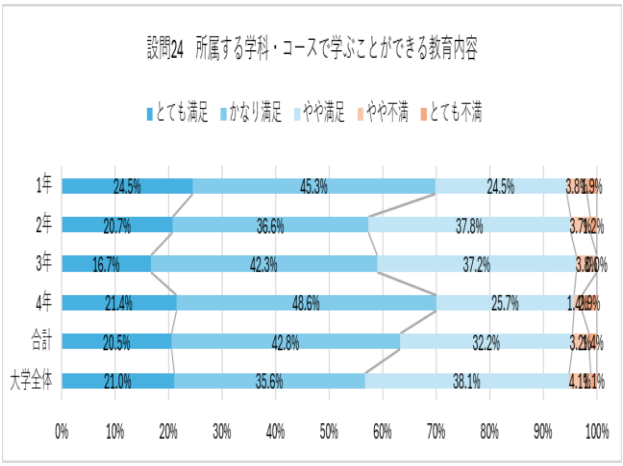
なお学生は「とても満足」「かなり満足」「やや満足」「やや不満」「とても不満」の 5 件法で回答することになっている。その結果が以下の通りである。

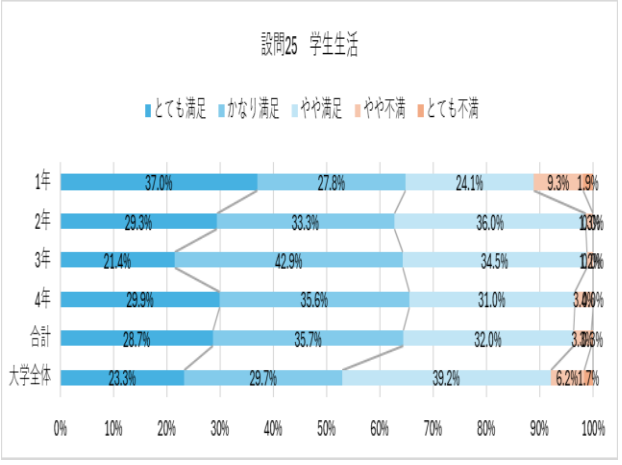
小学校･特別支援コース	保育･幼稚園コース

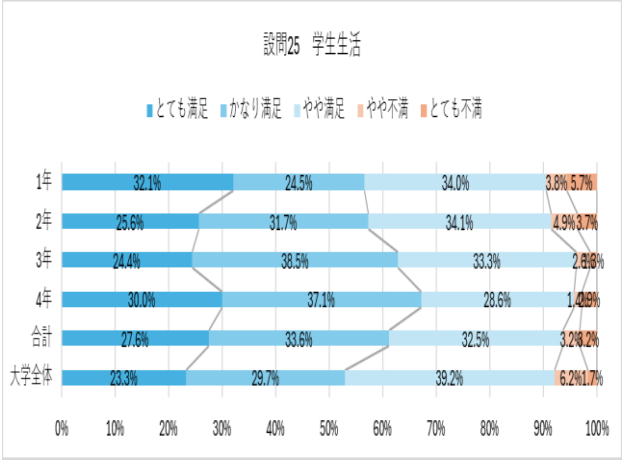


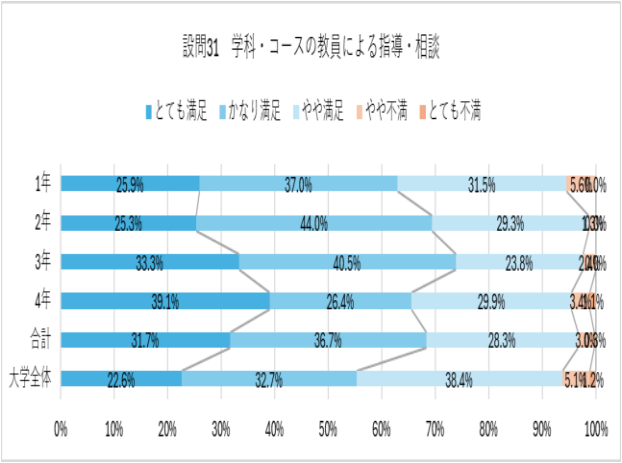


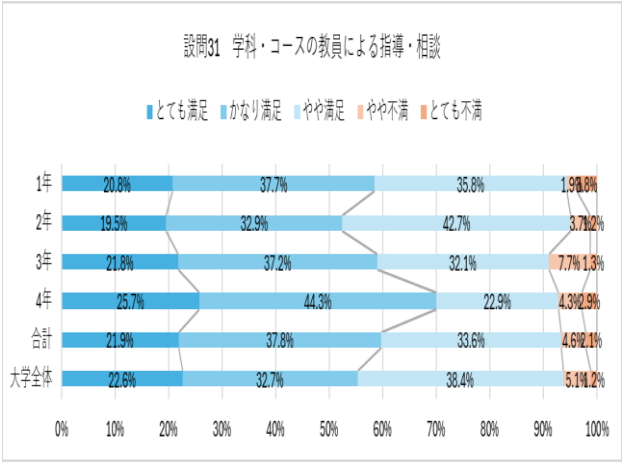

設問24　所属する学科・コースで学ぶことができる教育内容
とても満足
かなり満足
やや満足
やや不満
とても不満
1年 22.2% 40.7% 33.3%
2年 30.7% 42.7% 24.0%
3年 21.4% 48.8% 29.8%
4年 31.0% 34.5% 32.2%
合計 26.7% 41.7% 29.7%
大学全体 21.0% 35.6% 38.1%
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

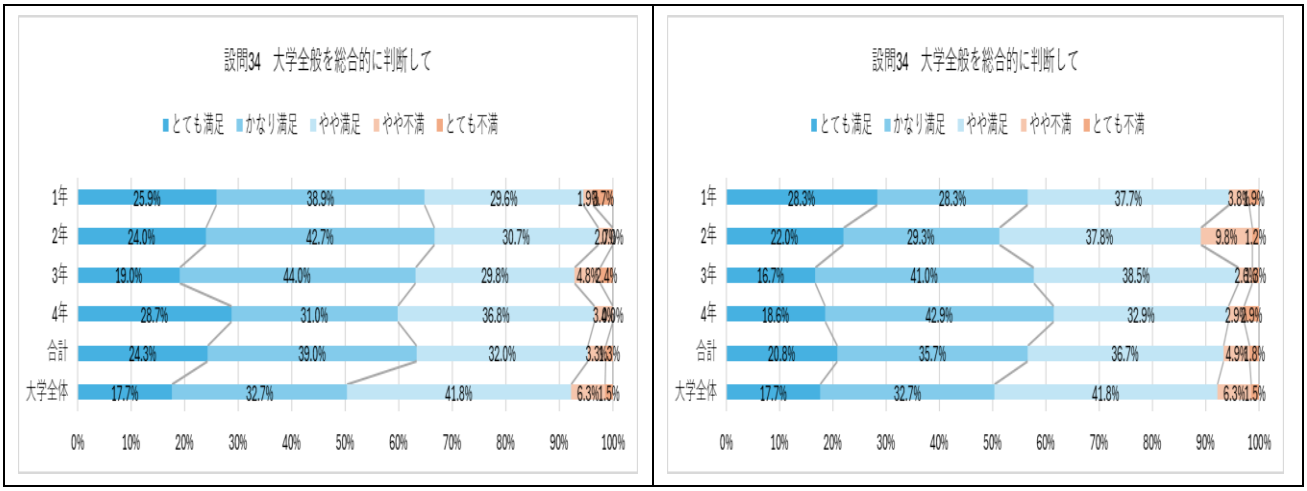

設問24　所属する学科・コースで学ぶことができる教育内容
とても満足
かなり満足
やや満足
やや不満
とても不満
1年 24.5% 45.3% 24.5%
2年 20.7% 36.6% 37.8%
3年 16.7% 42.3% 37.2%
4年 21.4% 48.6% 25.7%
合計 20.5% 42.8% 32.2%
大学全体 21.0% 35.6% 38.1%
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%


設問25　学生生活
とても満足
かなり満足
やや満足
やや不満
とても不満
1年 37.0% 27.8% 24.1% 9.3% 1.9%
2年 29.3% 33.3% 36.0%
3年 21.4% 42.9% 34.5%
4年 29.9% 35.6% 31.0%
合計 28.7% 35.7% 32.0%
大学全体 23.3% 29.7% 39.2% 6.2% 1.7%
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%


設問25　学生生活
とても満足
かなり満足
やや満足
やや不満
とても不満
1年 32.1% 24.5% 34.0% 3.8% 5.7%
2年 25.6% 31.7% 34.1% 4.9% 3.7%
3年 24.4% 38.5% 33.3%
4年 30.0% 37.1% 28.6%
合計 27.6% 33.6% 32.5%
大学全体 23.3% 29.7% 39.2% 6.2% 1.7%
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%


設問31　学科・コースの教員による指導・相談
とても満足
かなり満足
やや満足
やや不満
とても不満
1年 25.9% 37.0% 31.5%
2年 25.3% 44.0% 29.3%
3年 33.3% 40.5% 23.8%
4年 39.1% 26.4% 29.9%
合計 31.7% 36.7% 28.3%
大学全体 22.6% 32.7% 38.4% 5.1%
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%


設問31　学科・コースの教員による指導・相談
とても満足
かなり満足
やや満足
やや不満
とても不満
1年 20.8% 37.7% 35.8%
2年 19.5% 32.9% 42.7%
3年 21.8% 37.2% 32.1% 7.7%
4年 25.7% 44.3% 22.9% 4.3%
合計 21.9% 37.8% 33.6% 4.6%
大学全体 22.6% 32.7% 38.4% 5.1%
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



設問 23 から 25 は主に「教育内容」に関するものである。「設問 23　授業の内容」について「とても満足」「かなり満足」と回答した学生の割合は「小学校・特別支援コース」全体で 55.0%、「保育・幼稚園コース」全体で 52.3%であり、これは大学全体の「とても満足」「かなり満足」と回答した割合である 46.2%を大きく上回る結果となり、本学科の「授業の内容」に満足している学生の割合が高いことが伺える。

同様に「設問 24　所属する学科・コースで学ぶことができる教育内容」についても「とても満足」「かなり満足」と回答した学生の割合は「小学校・特別支援コース」全体で 68.4%、「保育・幼稚園コース」全体で 63.3%であり、これは大学全体の「とても満足」「かなり満足」と回答した割合である 56.6%を大きく上回る結果となり、本学科・本コースで学ぶことができる「教育内容」に満足している学生の割合が高いことが伺える。

また、設問 31 では「学科・コースの教員による指導・相談」に関する満足度について問われているが、「とても満足」「かなり満足」と回答した割合は「小学校・特別支援コース」全体で 68.4%、「保育・幼稚園コース」全体で 59.7%であり、大学全体の「とても満足」「かなり満足」と回答した割合である 55.3%を上回る結果となり、本学科・コースの教員による「指導・相談」に満足している学生の割合が高いことが伺える。

このように、本学科・コースの教育内容・授業内容、指導・相談内容へ満足している学生の割合が高いため、設問 25 の「学生生活」の満足度を問う設問や、設問 34 の「大学全般を総合的に判断」した満足度を問う設問においても、「とても満足」「かなり満足」と回答した学生の割合が大学全体の数値を上回る結果となっている。

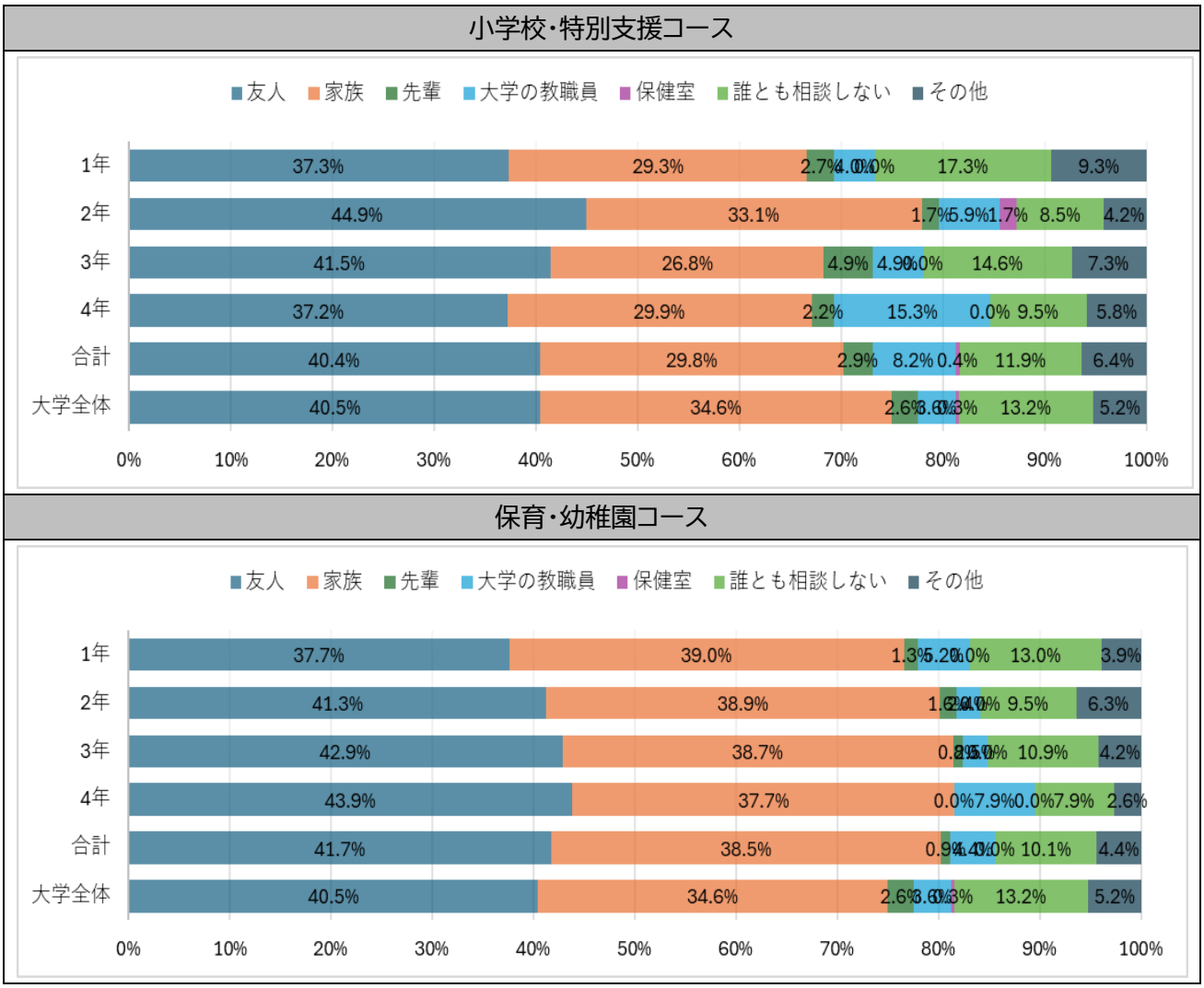
一方、設問 25「学生生活」の満足度を問う 1 年生の結果を改めて見てみると、「やや不満」「とても不満」と回答した 1 年生の割合が「小学校・特別支援コース」で 11.2%、「保育・幼稚園コース」で 9.5%であり、いずれも大学全体の 7.9%を上回っている。しかし、それぞれのコースの 1 年生の「設問 23　授業の内容」や「設問 24　教育内容」「設問 31　教員による指導・相談」に関する「やや不満」「とても不満」の割合は、大学全体の「やや不満」「とても不満」の割合よりも下回っているため、「授業の内容」や「教育内容」「教員による指導・相談」と「学生生活」との相関関係がこの結果からは読み取れない。そのため、「大学生活全般に対する不安や悩み」等が「学生生活」の不満につながっていると推察されるため、大学生活への滑らかな接続を実現するためにも、教職員による手厚いサポートが今後一層必要とな

ると言えよう。

3. 不安や悩みの相談相手について

項目 6 では、設問 35 から 42 にかけて学修や進路、健康等の不安や悩み等について実態を捉える内容となっている。ここでは設問 43 の「不安や悩みについて誰に相談しましたか」の結果から本学科・コースの特性を考察していく。

設問 43 では、次の中から二つまで回答できることになっている。「友人」「家族」「大学の教職員」「保健室」「誰とも相談しない」「その他」である。以下がその結果である。



教員採用試験や教育実習等で多忙を極める本学科の 4 年生の結果を見ていくと「小学校・特別支援コース」では、相談相手として「友人」「家族」の次に「教職員」の割合が高く、15.3%の学生が悩みを抱えた際に「教職員」に悩みを打ち明けている。同様に「保育・幼稚園コース」においても、相談相手として「友人」「家族」の次に「教職員」の割合が高く、7.9%の学生が「教職員」に悩みを打ち明けている。

「教職員」に相談する大学全体の平均値が 3.6%であることを鑑みると、本学科では 4 年生になると非常に高い割合で「教職員」を相談相手としている実態が伺える。

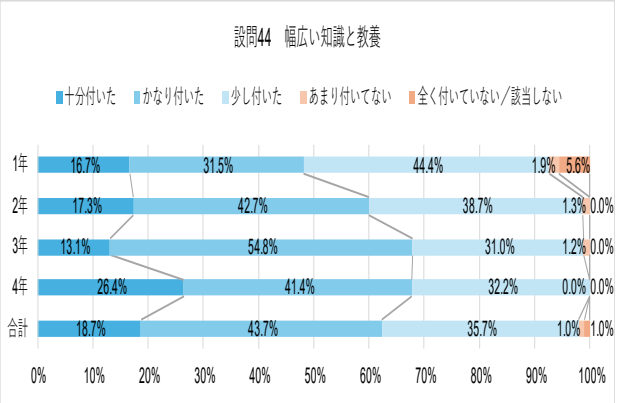
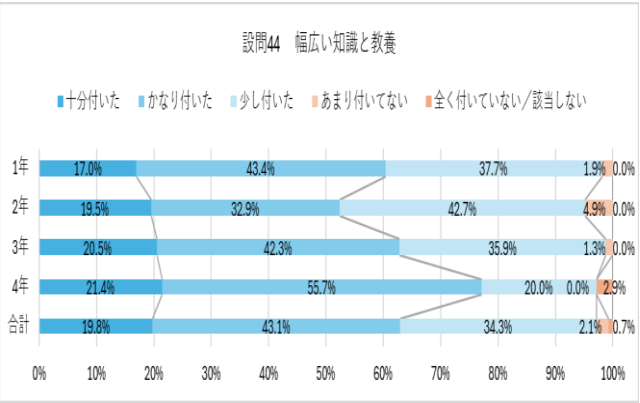
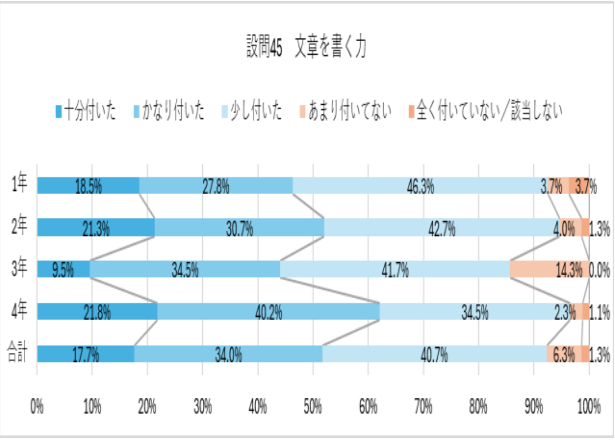
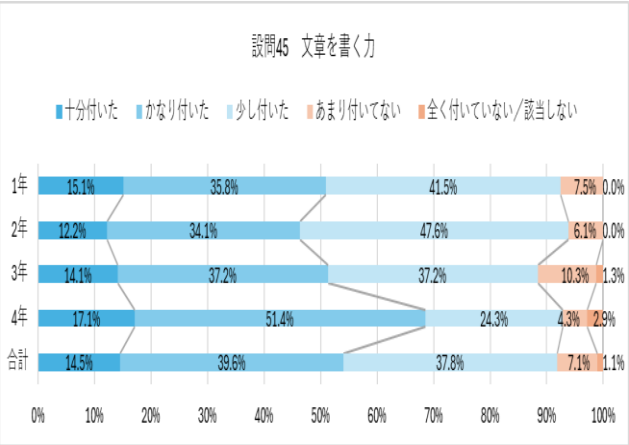
4 年生は、免許状の取得に関わる、あるいは自身の進路に大きな影響を及ぼす教育実習や教員採用試験等を控えている。そうしたことに対する不安や悩みに直面した際に、専門性をもつ本学・本コースの教職員に相談する傾向が高い要因であると考察される。

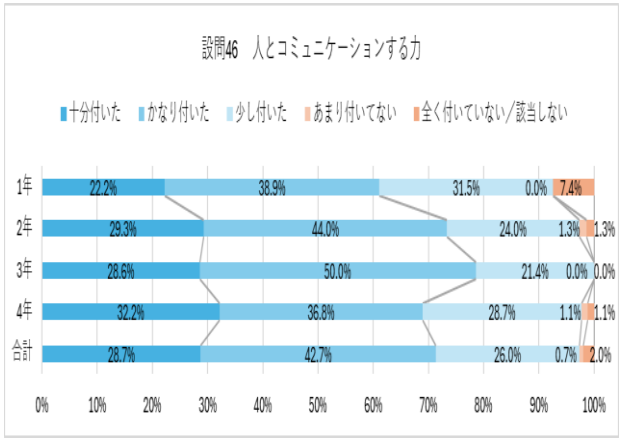
この結果は、学生の悩みの実態に応じたサポートを今後も引き継き行っていくことの重要性を示唆している。

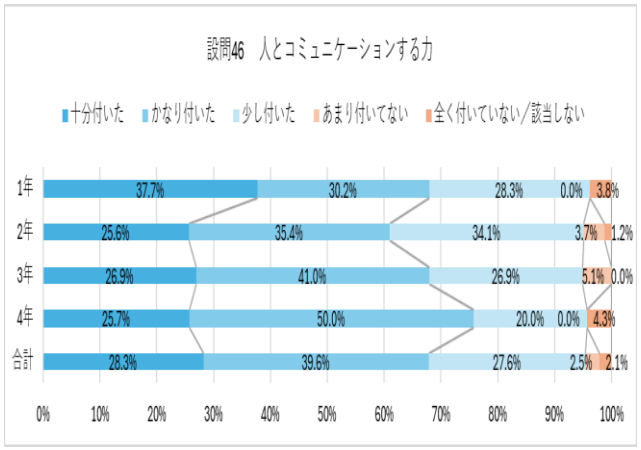
4. 成長実感度について

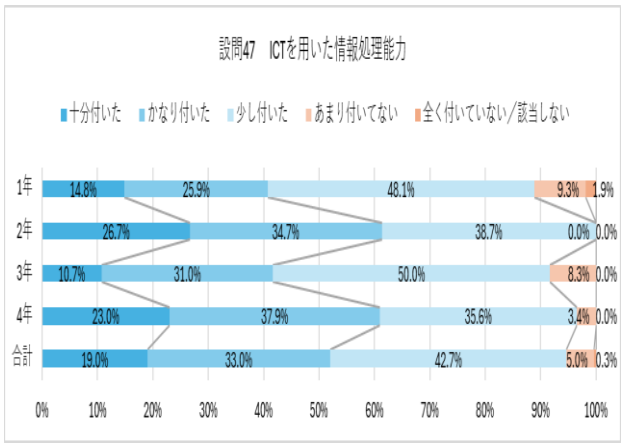
項目 7 では、設問 44 から 58 にかけて「大学入学時と比べた能力の成長実感度」について「十分付いた」「かなり付いた」「少し付いた」「あまり付いていない」「全く付いていない/該当しない」の 5 件法で回答していった。

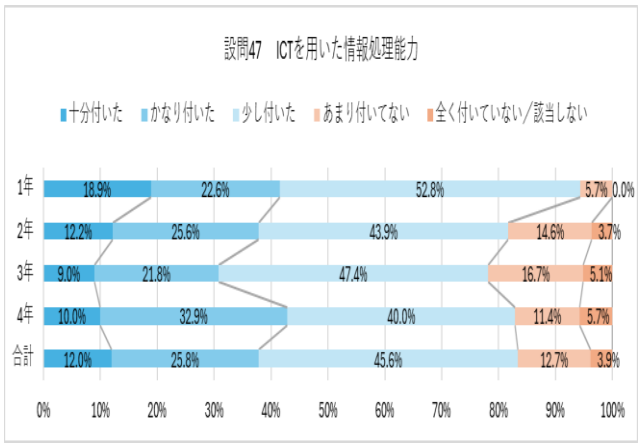
結果は以下の通りである。

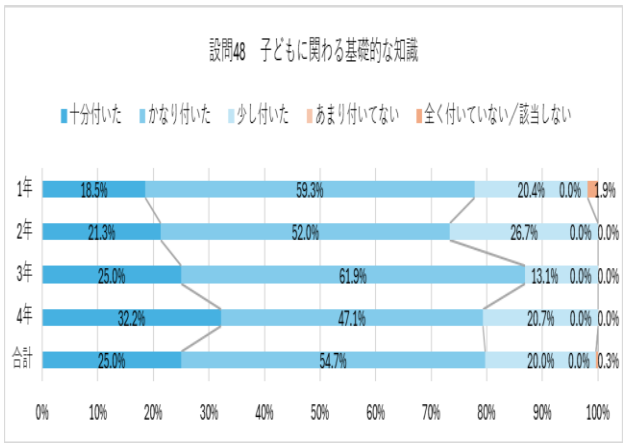
小学校・特別支援コース	保育・幼稚園コース
	
	

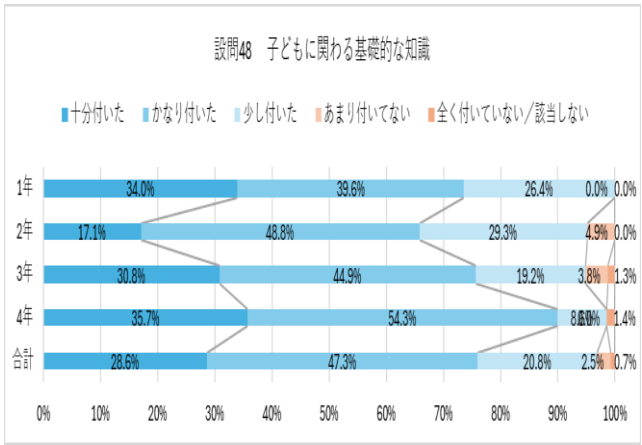

設問46　人とコミュニケーションする力
十分付いた
かなり付いた
少し付いた
あまり付いてない
全く付いていない/該当しない
1年 22.2% 38.9% 31.5% 0.0% 7.4%
2年 29.3% 44.0% 24.0% 1.3% 1.3%
3年 28.6% 50.0% 21.4% 0.0% 0.0%
4年 32.2% 36.8% 28.7% 1.1% 1.1%
合計 28.7% 42.7% 26.0% 0.7% 2.0%
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

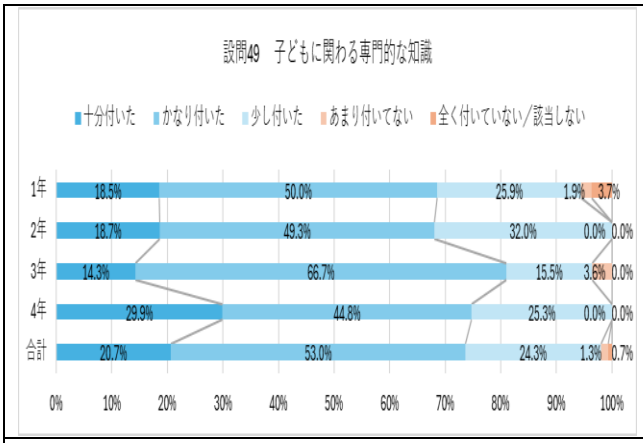

設問46　人とコミュニケーションする力
十分付いた
かなり付いた
少し付いた
あまり付いてない
全く付いていない/該当しない
1年 37.7% 30.2% 28.3% 0.0% 3.8%
2年 25.6% 35.4% 34.1% 3.7% 1.2%
3年 26.9% 41.0% 26.9% 5.1% 0.0%
4年 25.7% 50.0% 20.0% 0.0% 4.3%
合計 28.3% 39.6% 27.6% 2.5% 2.1%
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

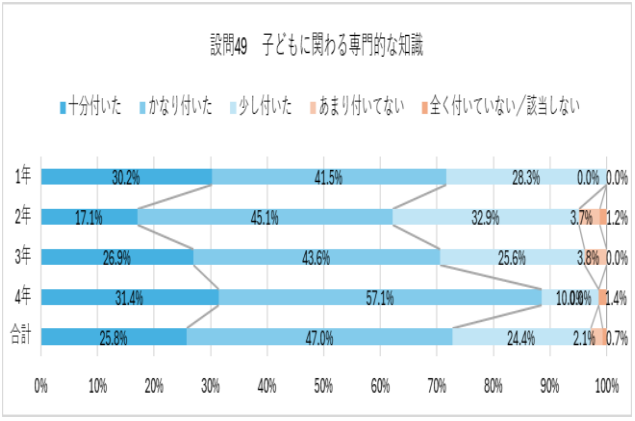

設問47　ICTを用いた情報処理能力
十分付いた
かなり付いた
少し付いた
あまり付いてない
全く付いていない/該当しない
1年 14.8% 25.9% 48.1% 9.3% 1.9%
2年 26.7% 34.7% 38.7% 0.0% 0.0%
3年 10.7% 31.0% 50.0% 8.3% 0.0%
4年 23.0% 37.9% 35.6% 3.4% 0.0%
合計 19.0% 33.0% 42.7% 5.0% 0.3%
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

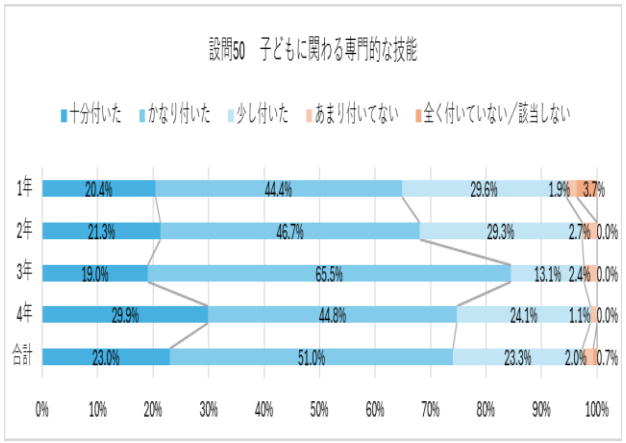

設問47　ICTを用いた情報処理能力
十分付いた
かなり付いた
少し付いた
あまり付いてない
全く付いていない/該当しない
1年 18.9% 22.6% 52.8% 5.7% 0.0%
2年 12.2% 25.6% 43.9% 14.6% 3.7%
3年 9.0% 21.8% 47.4% 16.7% 5.1%
4年 10.0% 32.9% 40.0% 11.4% 5.7%
合計 12.0% 25.8% 45.6% 12.7% 3.9%
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

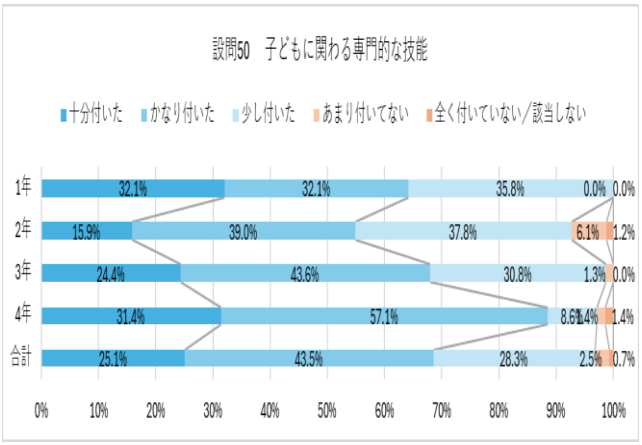

設問48　子どもに関わる基礎的な知識
十分付いた
かなり付いた
少し付いた
あまり付いてない
全く付いていない/該当しない
1年 18.5% 59.3% 20.4% 0.0% 1.9%
2年 21.3% 52.0% 26.7% 0.0% 0.0%
3年 25.0% 61.9% 13.1% 0.0% 0.0%
4年 32.2% 47.1% 20.7% 0.0% 0.0%
合計 25.0% 54.7% 20.0% 0.0% 0.3%
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

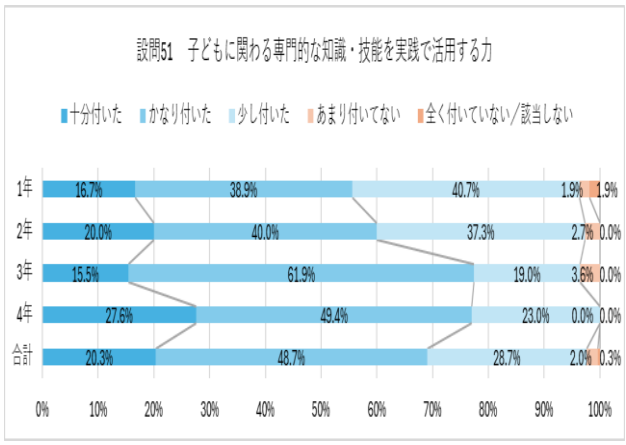

設問48　子どもに関わる基礎的な知識
十分付いた
かなり付いた
少し付いた
あまり付いてない
全く付いていない/該当しない
1年 34.0% 39.6% 26.4% 0.0% 0.0%
2年 17.1% 48.8% 29.3% 4.9% 0.0%
3年 30.8% 44.9% 19.2% 3.8% 1.3%
4年 35.7% 54.3% 8.6% 0.0% 1.4%
合計 28.6% 47.3% 20.8% 2.5% 0.7%
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

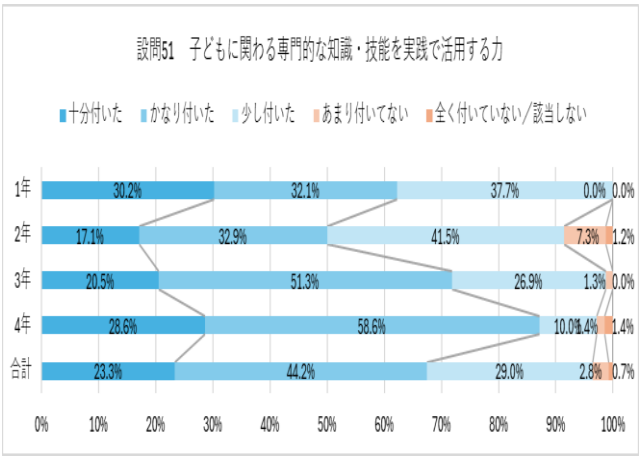

設問49　子どもに関わる専門的な知識
十分付いた
かなり付いた
少し付いた
あまり付いてない
全く付いていない/該当しない
1年 18.5% 50.0% 25.9% 1.9% 3.7%
2年 18.7% 49.3% 32.0% 0.0% 0.0%
3年 14.3% 66.7% 15.5% 3.6% 0.0%
4年 29.9% 44.8% 25.3% 0.0% 0.0%
合計 20.7% 53.0% 24.3% 1.3% 0.7%
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

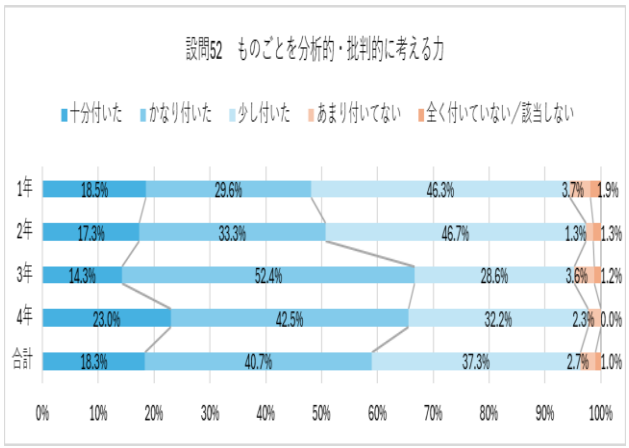

設問49　子どもに関わる専門的な知識
十分付いた
かなり付いた
少し付いた
あまり付いてない
全く付いていない/該当しない
1年 30.2% 41.5% 28.3% 0.0% 0.0%
2年 17.1% 45.1% 32.9% 3.7% 1.2%
3年 26.9% 43.6% 25.6% 3.8% 0.0%
4年 31.4% 57.1% 10.0% 0.0% 1.4%
合計 25.8% 47.0% 24.4% 2.1% 0.7%
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

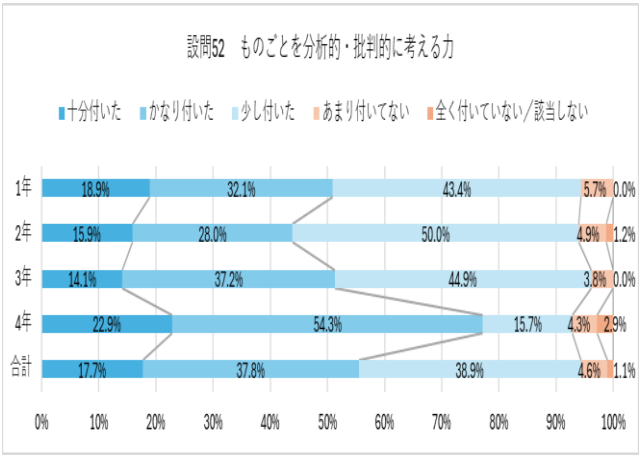

設問50　子どもに関わる専門的な技能
十分付いた
かなり付いた
少し付いた
あまり付いてない
全く付いていない/該当しない
1年 20.4% 44.4% 29.6% 1.9% 3.7%
2年 21.3% 46.7% 29.3% 2.7% 0.0%
3年 19.0% 65.5% 13.1% 2.4% 0.0%
4年 29.9% 44.8% 24.1% 1.1% 0.0%
合計 23.0% 51.0% 23.3% 2.0% 0.7%
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

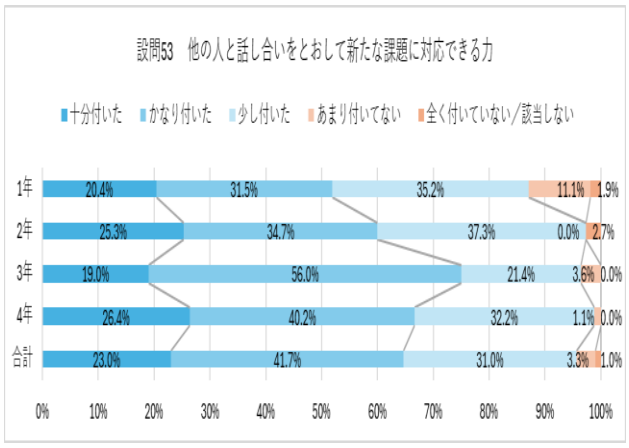

設問50　子どもに関わる専門的な技能
十分付いた
かなり付いた
少し付いた
あまり付いてない
全く付いていない/該当しない
1年 32.1% 32.1% 35.8% 0.0% 0.0%
2年 15.9% 39.0% 37.8% 6.1% 1.2%
3年 24.4% 43.6% 30.8% 1.3% 0.0%
4年 31.4% 57.1% 8.6% 1.4% 1.4%
合計 25.1% 43.5% 28.3% 2.5% 0.7%
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

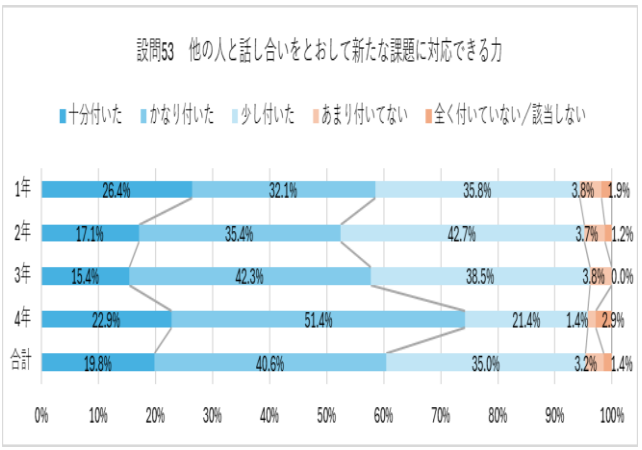

設問51　子どもに関わる専門的な知識・技能を実践で活用する力
十分付いた
かなり付いた
少し付いた
あまり付いてない
全く付いていない/該当しない
1年 16.7% 38.9% 40.7% 1.9% 1.9%
2年 20.0% 40.0% 37.3% 2.7% 0.0%
3年 15.5% 61.9% 19.0% 3.6% 0.0%
4年 27.6% 49.4% 23.0% 0.0% 0.0%
合計 20.3% 48.7% 28.7% 2.0% 0.3%
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

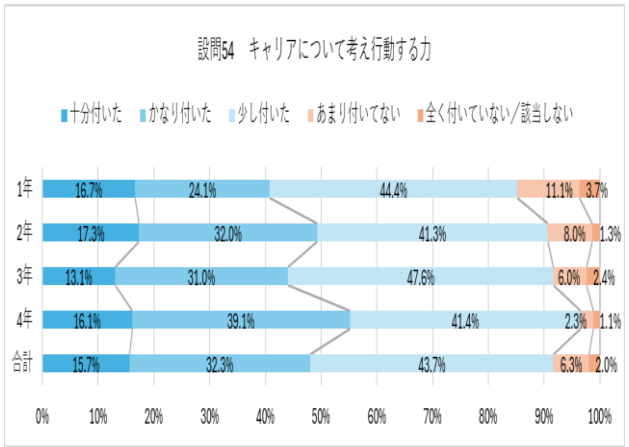

設問51　子どもに関わる専門的な知識・技能を実践で活用する力
十分付いた
かなり付いた
少し付いた
あまり付いてない
全く付いていない/該当しない
1年 30.2% 32.1% 37.7% 0.0% 0.0%
2年 17.1% 32.9% 41.5% 7.3% 1.2%
3年 20.5% 51.3% 26.9% 1.3% 0.0%
4年 28.6% 58.6% 10.0% 1.4% 1.4%
合計 23.3% 44.2% 29.0% 2.8% 0.7%
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

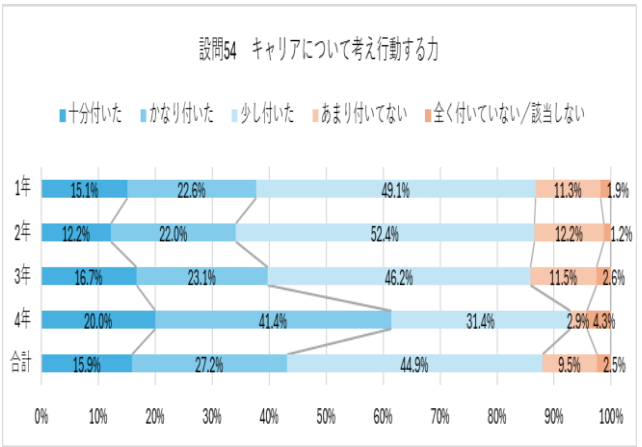

設問52　ものごとを分析的・批判的に考える力
十分付いた
かなり付いた
少し付いた
あまり付いてない
全く付いていない/該当しない
1年 18.5% 29.6% 46.3% 3.7% 1.9%
2年 17.3% 33.3% 46.7% 1.3% 1.3%
3年 14.3% 52.4% 28.6% 3.6% 1.2%
4年 23.0% 42.5% 32.2% 2.3% 0.0%
合計 18.3% 40.7% 37.3% 2.7% 1.0%
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

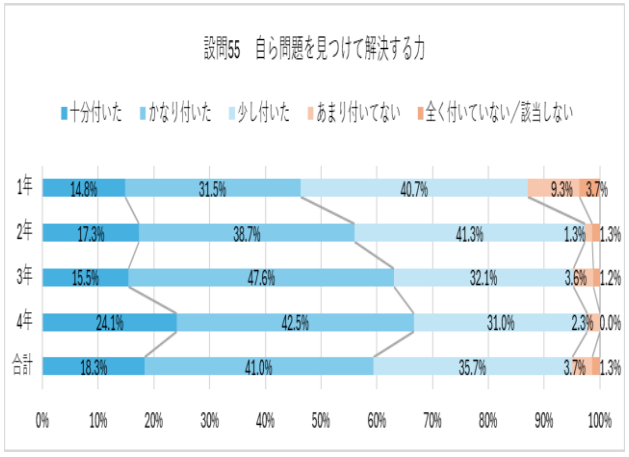

設問52　ものごとを分析的・批判的に考える力
十分付いた
かなり付いた
少し付いた
あまり付いてない
全く付いていない/該当しない
1年 18.9% 32.1% 43.4% 5.7% 0.0%
2年 15.9% 28.0% 50.0% 4.9% 1.2%
3年 14.1% 37.2% 44.9% 3.8% 0.0%
4年 22.9% 54.3% 15.7% 4.3% 2.9%
合計 17.7% 37.8% 38.9% 4.6% 1.1%
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

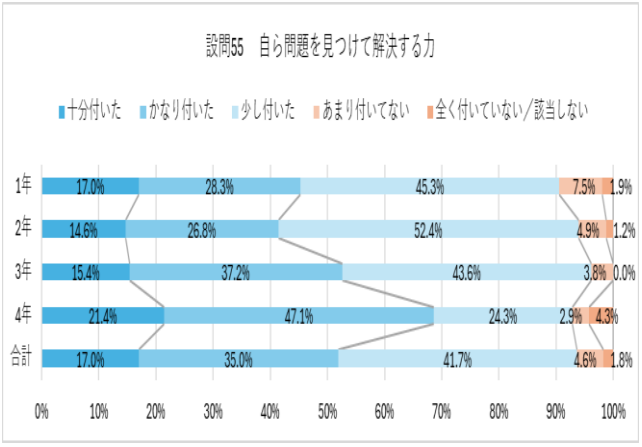

設問53　他の人と話し合いをとおして新たな課題に対応できる力
十分付いた
かなり付いた
少し付いた
あまり付いてない
全く付いていない/該当しない
1年 20.4% 31.5% 35.2% 11.1% 1.9%
2年 25.3% 34.7% 37.3% 0.0% 2.7%
3年 19.0% 56.0% 21.4% 3.6% 0.0%
4年 26.4% 40.2% 32.2% 1.1% 0.0%
合計 23.0% 41.7% 31.0% 3.3% 1.0%
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

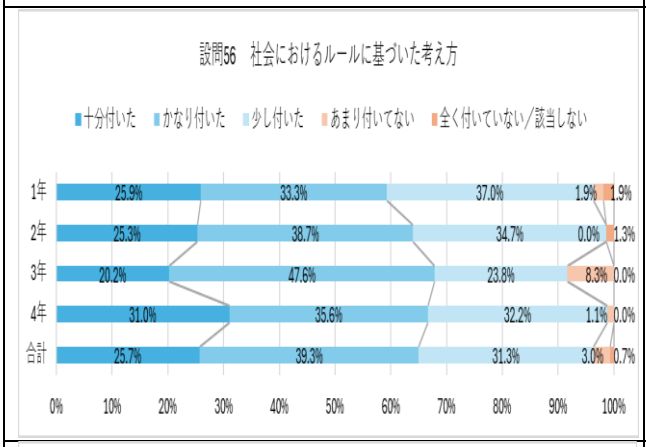

設問53　他の人と話し合いをとおして新たな課題に対応できる力
十分付いた
かなり付いた
少し付いた
あまり付いてない
全く付いていない/該当しない
1年 26.4% 32.1% 35.8% 3.8% 1.9%
2年 17.1% 35.4% 42.7% 3.7% 1.2%
3年 15.4% 42.3% 38.5% 3.8% 0.0%
4年 22.9% 51.4% 21.4% 1.4% 2.9%
合計 19.8% 40.6% 35.0% 3.2% 1.4%
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

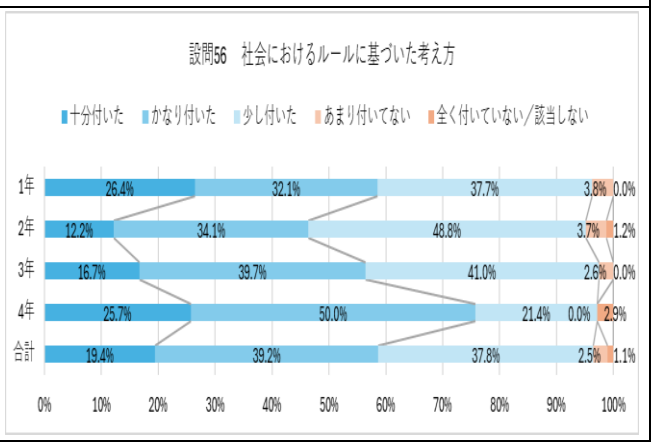

設問54　キャリアについて考え行動する力
十分付いた
かなり付いた
少し付いた
あまり付いてない
全く付いていない/該当しない
1年 16.7% 24.1% 44.4% 11.1% 3.7%
2年 17.3% 32.0% 41.3% 8.0% 1.3%
3年 13.1% 31.0% 47.6% 6.0% 2.4%
4年 16.1% 39.1% 41.4% 2.3% 1.1%
合計 15.7% 32.3% 43.7% 6.3% 2.0%
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

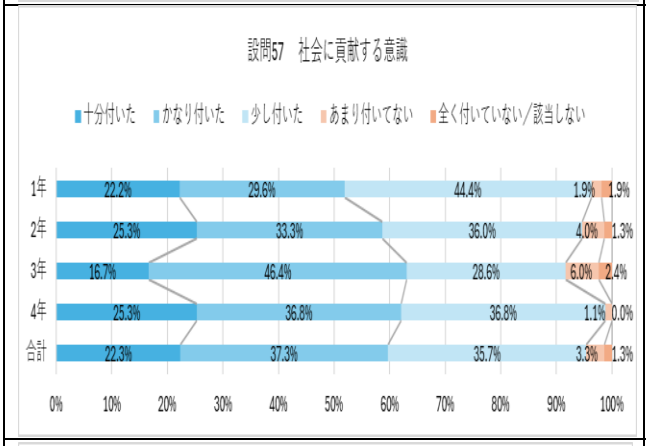

設問54　キャリアについて考え行動する力
十分付いた
かなり付いた
少し付いた
あまり付いてない
全く付いていない/該当しない
1年 15.1% 22.6% 49.1% 11.3% 1.9%
2年 12.2% 22.0% 52.4% 12.2% 1.2%
3年 16.7% 23.1% 46.2% 11.5% 2.6%
4年 20.0% 41.4% 31.4% 2.9% 4.3%
合計 15.9% 27.2% 44.9% 9.5% 2.5%
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

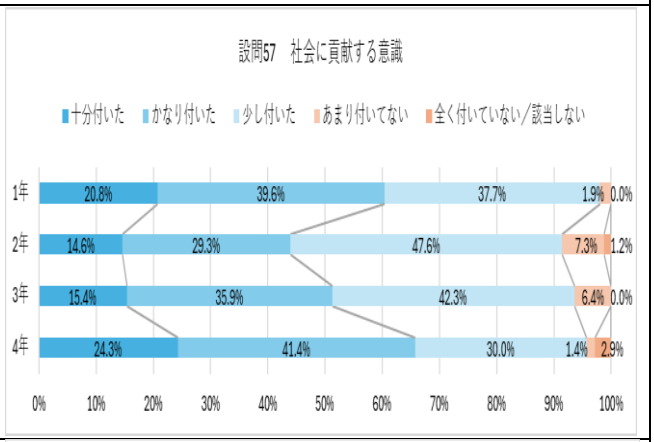

設問55　自ら問題を見つけて解決する力
十分付いた
かなり付いた
少し付いた
あまり付いてない
全く付いていない/該当しない
1年 14.8% 31.5% 40.7% 9.3% 3.7%
2年 17.3% 38.7% 41.3% 1.3% 1.3%
3年 15.5% 47.6% 32.1% 3.6% 1.2%
4年 24.1% 42.5% 31.0% 2.3% 0.0%
合計 18.3% 41.0% 35.7% 3.7% 1.3%
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

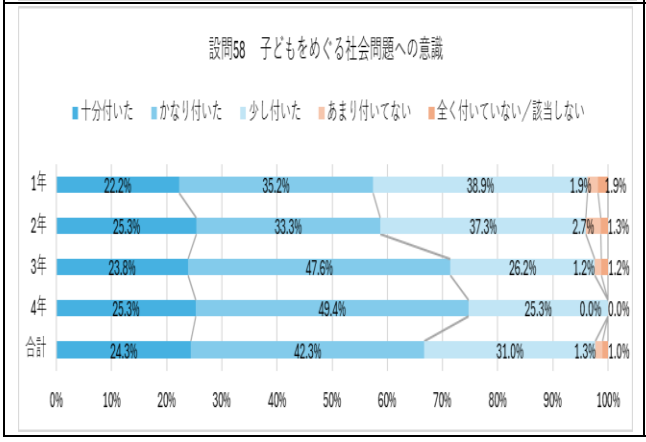

設問55　自ら問題を見つけて解決する力
十分付いた
かなり付いた
少し付いた
あまり付いてない
全く付いていない/該当しない
1年 17.0% 28.3% 45.3% 7.5% 1.9%
2年 14.6% 26.8% 52.4% 4.9% 1.2%
3年 15.4% 37.2% 43.6% 3.8% 0.0%
4年 21.4% 47.1% 24.3% 2.9% 4.3%
合計 17.0% 35.0% 41.7% 4.6% 1.8%
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

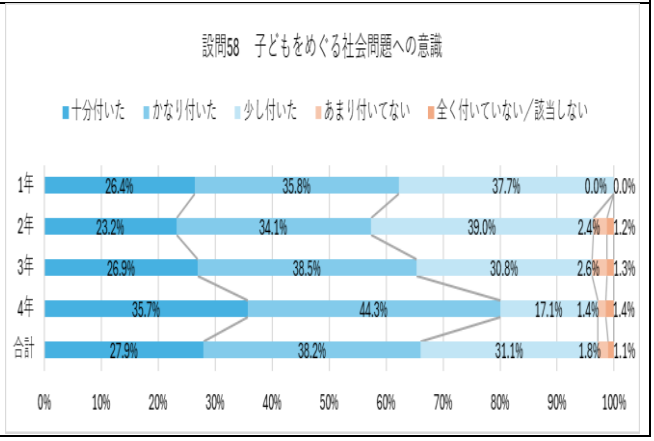

設問56　社会におけるルールに基づいた考え方
十分付いた
かなり付いた
少し付いた
あまり付いてない
全く付いていない/該当しない
1年 25.9% 33.3% 37.0% 1.9% 1.9%
2年 25.3% 38.7% 34.7% 0.0% 1.3%
3年 20.2% 47.6% 23.8% 8.3% 0.0%
4年 31.0% 35.6% 32.2% 1.1% 0.0%
合計 25.7% 39.3% 31.3% 3.0% 0.7%
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%


設問56　社会におけるルールに基づいた考え方
十分付いた
かなり付いた
少し付いた
あまり付いてない
全く付いていない/該当しない
1年 26.4% 32.1% 37.7% 3.8% 0.0%
2年 12.2% 34.1% 48.8% 3.7% 1.2%
3年 16.7% 39.7% 41.0% 2.6% 0.0%
4年 25.7% 50.0% 21.4% 0.0% 2.9%
合計 19.4% 39.2% 37.8% 2.5% 1.1%
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%


設問57　社会に貢献する意識
十分付いた
かなり付いた
少し付いた
あまり付いてない
全く付いていない/該当しない
1年 22.2% 29.6% 44.4% 1.9% 1.9%
2年 25.3% 33.3% 36.0% 4.0% 1.3%
3年 16.7% 46.4% 28.6% 6.0% 2.4%
4年 25.3% 36.8% 36.8% 1.1% 0.0%
合計 22.3% 37.3% 35.7% 3.3% 1.3%
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%


設問57　社会に貢献する意識
十分付いた
かなり付いた
少し付いた
あまり付いてない
全く付いていない/該当しない
1年 20.8% 39.6% 37.7% 1.9% 0.0%
2年 14.6% 29.3% 47.6% 7.3% 1.2%
3年 15.4% 35.9% 42.3% 6.4% 0.0%
4年 24.3% 41.4% 30.0% 1.4% 2.9%
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%


設問58　子どもをめぐる社会問題への意識
十分付いた
かなり付いた
少し付いた
あまり付いてない
全く付いていない/該当しない
1年 22.2% 35.2% 38.9% 1.9% 1.9%
2年 25.3% 33.3% 37.3% 2.7% 1.3%
3年 23.8% 47.6% 26.2% 1.2% 1.2%
4年 25.3% 49.4% 25.3% 0.0% 0.0%
合計 24.3% 42.3% 31.0% 1.3% 1.0%
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%


設問58　子どもをめぐる社会問題への意識
十分付いた
かなり付いた
少し付いた
あまり付いてない
全く付いていない/該当しない
1年 26.4% 35.8% 37.7% 0.0% 0.0%
2年 23.2% 34.1% 39.0% 2.4% 1.2%
3年 26.9% 38.5% 30.8% 2.6% 1.3%
4年 35.7% 44.3% 17.1% 1.4% 1.4%
合計 27.9% 38.2% 31.1% 1.8% 1.1%
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

「小学校・特別支援コース」では、全ての設問において「十分付いた」「かなり付いた」「少し付いた」と回答した学生の割合（1～4 学年の合計）が 90%を超えている。この結果から、多くの学生が上記の設問で問われている内容の成長を実感していることが伺える。

また、「十分付いた」「かなり付いた」と回答した学生の割合を見ていくと、3 年生と 4 年生の割合が高い。このことから、本学科・コースのカリキュラムを通し自身の資質や能力が向上したと実感し、肯定的に捉える傾向にあることが推察される。

同様に「保育・幼稚園コース」では、「設問 47　ICT を用いた情報処理能力」「設問 54　キャリアについて考え行動する力」を除く全ての設問において「十分付いた」「かなり付いた」「少し付いた」と回答した学生の割合（1～4 学年の合計）が 90%を超えている。この結果から、多くの学生が上記の設問で問われている内容の成長を実感していることが伺える。

また、4 年生の「十分付いた」「かなり付いた」と回答した学生の割合を見ていくと、どの学年の割合よりも高い。このことから、本学科・コースのカリキュラムを通し自身の資質や能力が向上したと実感し、肯定的に捉える傾向にあることが推察される。

2024 年度 観光経営学科 学修行動と学習成果の調査結果分析

観光経営学科では、7 項目（Ⅰ．学修行動と学生生活について 6 項目 43 問、Ⅱ．学修成果についてについて 1 項目 16 問）の選択形式、学修行動に関するアンケート調査を実施し、分析を行った。今後の学修指導および学生の満足度を向上させるために有益であろう分析結果に絞って以下の通りまとめる。

1. 調査項目について

観光経営学科では、1 年生～4 年生共通で下記の項目について調査を実施した。

Ⅰ．学修行動と学生生活について

1. 本学の「目標とする力」についての調査（設問数 6/ Q1～Q6）
2. 授業に関連した調査（設問数 7/ Q7～Q13）
3. 授業期間中の一日当たりの行動調査（設問数 5/ Q14～Q18）
4. 授業期間中の学内外での行動調査（設問数 4/ Q19～Q22）
5. 大学の教育内容・設備・学修支援の満足度についての調査（設問数 12/ Q23～Q34）
6. 現時点での不安や悩みに関する調査（設問数 9/ Q35～Q43）

Ⅱ．学修成果について

大学入学時以降の能力向上についての調査（設問数 16/ Q44～Q59）

2. 項目別調査結果について

(1) 本学の「目標とする力」についての調査（項目Ⅰ-1）

「あまり身に付いていない」「全く身に付いていない」の数値は。各項目によって多少のばらつきが見られる。人間愛（設問１）、他者との協働（設問２）自立（設問３）は総じて低いが、創造的は問題解決力（設問４）、世界の持続・発展に尽くす力（設問６）等は身に付いたと感じる学生が相対的に少ない。特に、設問６は総じて 10%～20%が身に付いたとの実感がなく、セミナー改革については、開始後 2 年であり継続的に取り組んでいきたい。

(2) 授業に関連した調査結果（項目Ⅰ-２/3）

設問７の「授業の予習や復習、授業課題のための勉強」に関しては、「頻繁にした」＋「かなりした」が各学ン弁において改善が見られる（1 年生で 13.5%→38.2%、2 年生で 12.1%→22.5%、3 年生で 16%→23.7%、4 年生で 9.4%→20.8%）。1 年生との差が大きく、引き続き向上に向けて取り組んで参りたい。設問 10 の「就職や資格取得に関わる勉強の取り組み」に関しては、3「頻繁にした」＋「かなりした」の数値は、3 年生は 33.3%、4 年生は 46.2%と高く、しっかり取り組む傾向が見られ、本学科の就職および資格取得に対する支援体制強化の成果が出ていたと考えられる。

設問９の「教員への質問や要望」については、「頻繁にした」＋「かなりした」の数値が、1 年生 21.3%（前年 8.5%）、2 年生 16.2%（同 8.1%）、3 年生については 25.8%（同 6.6%）、4 年生は 19.8%（同 13.2%）と前年比大幅に改善している。引き続きセミナーを中心に教員による一層しっかりした取り組み、指導力を行っていきたい。その他設問 11「友人と一緒に勉強」、設問 12「メディアライブラリーセンター（図書館）を利用した勉強」とも改善が見られる。

設問 21「アルバイトの回数（一週あたり）」が 3 回以上の学生は、前年は 1 年生以外で 80%前後となっていたが、2024 年度は 3 回以上の学生の割合は 1 年生で 64%、2 年生 66%、3 年生 69%、4 年生 73.6%となり、低下傾向。学業とアルバイトの両立については睡眠時間と併せて継続的に生活指導を行う。

(3) 大学の設備・教育内容・学習支援の満足度についての調査結果（項目Ⅰ-4）

本学科の学生において、設問 34「大学全体を総合的に判断して」の評価は高く、設問 24「所属する学科・コースで学ぶことができる教育内容」、設問 25「学生生活」、設問 26「講義教室の設備（空調や照明を含む）」、設問 28「メディアライブラリー（図書館）の設備や学習環境」に対する満足度も高い。しかし、最も重要といえる設問 23「授業の内容」の評価は「とても満足」+「かなり満足」+「やや満足」の合計で全学年平均で９４%だったものの、「とても満足」+「かなり満足」では 52.4%と、前年度の 43.1%からの改善はみられるものの、引き続き向上のための一層の努力が必要となる。なお、もうひとつの重要項目の設問 31「学科コースの教員による指導・相談」では満足度が高い評価を得られている。

(4) 現在の不安や悩みに関する調査結果（項目Ⅰ-5）

設問 35「授業の内容についていけない」と感じる学生は「大いにある」「少しある」の合計で、1、2 年生で 35%を超えており、3 年生でも 25%を超えている。学生の理解度に対して、教員による正確な理解と対応が求められる。

設問 36「卒業後にやりたいことがみつからない」、37「希望の就職先や進学先への不安」については、特に 37 は 3 年生でも 88.2%と高く、就活関連のサポートでの更なる対応が必要と考えられる。

設問 38「経済的に勉強を続けることが難しい」と答えた 1 年生の比率が 23.6%（前年 22%）と依然として飛び抜けて高く、2、3、年生でも 20%近くにのぼる。特に 1 年生への個別のケア対応が求められる。

設問 39「学内の友人関係に悩みがある」については、1 年生で 18%と前年の 27.7%からは改善しているが、2 年生は依然として 21%となっており、コミュニケーションについて留意が必要と思われる。

(5) 大学入学時と比べた「能力」向上についての調査（項目Ⅱ）

４年生では設問 44「幅広い知識と教養」、設問 46「ものごとを分析的・批評的に考える力」、設問 47「問題をみつけて解決する力」、設問 48「自律的生活態度」、設問 50「文章を書く力」、設問 51「自分の考え方を的確に表現する能力」、および設問 55「キャリアプランについて考え行動する力」については、「十分ついた」+「かなり付いた」で 50%以上となり、就活を意識する期間でもあり、「能力」の向上が多分野で認識された。とりわけ、44、46、47 については 60%近くとなり、向上幅が大きい、3 年生についても、同じ項目で 50%近くになり、就活への意識が一段と早期化していることが認識できた。

全学年を通じては、設問 45「本・論文・資料などを読む力」はいずれの学年も「十分ついた」+「かなり付いた」合計が 50%に達せず、設問 54「海外の歴史・文化に対する専門知識」の項目については、「十分ついた」+「かなり付いた」が特に 2 年生で低い（37.8%）傾向が見られた。とりわけ、設問 52「語学力」については、「あまり付いていない」+「全くついていない」が、4 年生は 9.4%だったものの、1、2 年生では 15%前後、3 年生では 25.8%に上る。語学力が重要となる観光経営学科としては強化・改善の必要性が認識される。

設問 56「観光経営に関する専門知識」の項目では、昨年は 4 年生だけが「十分ついた」+「かなり付いた」の数値が 50%を上回っていたが、2024 年度においては、全学年で 40%を超え、4 年生では 60%を超えた。

最後に、昨年まで「人とコミュニケーションする力」としていた項目を 2 つに分けて確認したが、設問 58「情報受信力」と設問 59「情報発信力」は、いずれも 1、2 年生の数値が上級生と比べて相対的に低い。両項目共に特に下級生の強化が必要と認識できた。

以 上